

## 「ガセリ菌 SP 株ヨーグルト」に係る食品健康影響評価について

### 1 経緯

「ガセリ菌 SP 株ヨーグルト」については、平成 26 年 3 月 12 日付けで、ガセリ菌 SP 株 (*Lactobacillus gasseri* SBT2055) を関与成分とする特定保健用食品の表示許可申請がなされたものである。

今般、消費者委員会新開発食品調査部会新開発食品評価調査会での審議が終了したことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 3 項及び健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令（平成 21 年内閣府令第 57 号）第 4 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

### 2 評価依頼製品の概要

#### (1) 製品

- ① 商 品 名：ガセリ菌 SP 株ヨーグルト
- ② 食 品 の 種 類：はっ酵乳
- ③ 関 与 成 分：ガセリ菌 SP 株 10 億
- ④ 一 日 摂 取 目 安 量：1 個 (100g)
- ⑤ 特 定 の 保 健 の 用 途：内臓脂肪が気になる方や肥満気味の方の食生活の改善に役立つ

#### (2) 関与成分

本食品の関与成分は、*Lactobacillus gasseri* に分類される菌株である。なお、健常成人の糞便から検出される *Lactobacillus* 属の中では、*Lactobacillus gasseri* が優勢であると報告されている。

#### (3) 作用機序

*in vitro* 試験で脂質エマルジョン懸濁液にガセリ菌 SP 株を添加すると、脂質エマルジョンの平均粒子径が増加した。粒子径の増加によってリパーゼの作用が相対的に減少し、脂質の吸収抑制が生じると考えられる。

#### (4) 有効性

肥満傾向の成人男女 108 名を対象に、被験食品とプラセボを用いた二重盲検無作為化並行群間比較試験を実施した。有効解析対象者 101 名での結果、内臓脂肪面積の摂取開始時（0 週目）からの変化量について、摂取 8 週目及び 12 週目で、プラセボ群に比較して被験食品群で有意な低下が認められた。また、摂取 0 週目の内臓脂肪面積が被験食品摂取の効果に影響を与えている可能性が考えられたため、摂取開始時の実測値を共変量とした共分散分析による再解析を行ったところ、内臓脂肪面積の実測値について、摂取 8 週目及び 12 週目で、プラセボ群に比較して被験食品群で有意な低下が認められた。

### 3 今後の予定

食品安全委員会の食品健康影響評価結果を受けた後に、消費者委員会新開発食品調査部会において審議する予定である。